

令和3年度 第1回高梁市地域公共交通会議次第

日時：令和3年10月8日（金）10:00～

場所：高梁市役所 3階大会議室

1. 開 会

2. 役員相互選について

3. 会長あいさつ

4. 議 事

- ・議事1 令和2年度生活福祉バス・ふれあいタクシー利用者数の推移（報告）

- ・議事2 高梁市タクシー利用助成制度（実証事業）利用状況及び利用者アンケートについて（報告）

- ・議事3 令和3年度の路線見直し状況及び見直し検討路線について

- ・議事4 グリーンスローモビリティ実証調査事業の実施について

5. その他

6. 閉 会

資料 1

令和2年度 生活福祉バス・ふれあいタクシー利用者数の推移

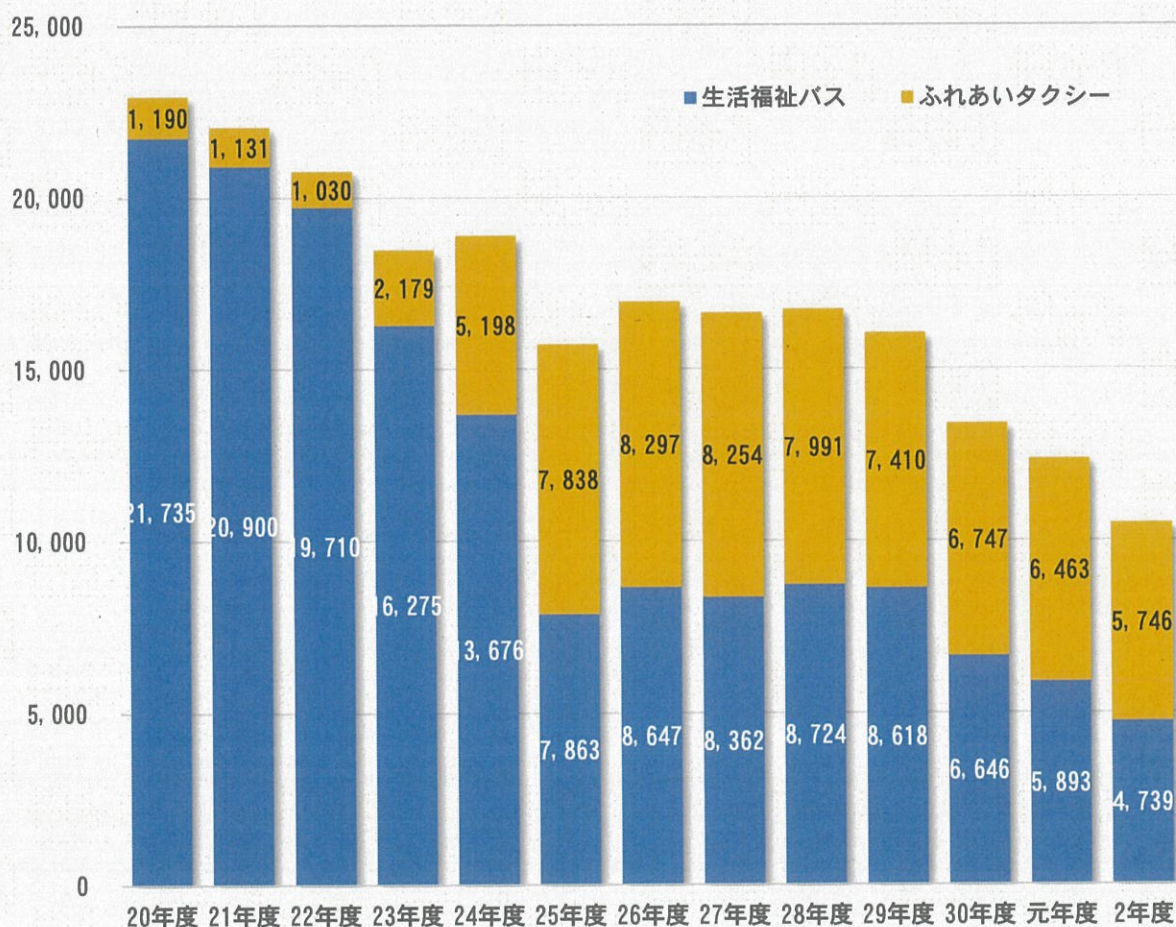
1. 市全体

- 令和2年度延べ利用者数は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響もあり、前年度比で生活福祉バスが1,154人減少（前年度比約19.6%減）、乗合タクシーが717人減少し（前年度比11.1%減）、計1,871人（前年度比約15.1%減）減少した。
- 備中地域、川上地域におけるふれあいタクシーへの転換が進んだ平成25年以降は、利用者数の減少傾向が鈍化していたが、平成30年度から減少が続いている。

※生活福祉バス利用者数：平成26年度10月から川面・巨瀬・中井地区を追加

※ふれあいタクシー利用者数：平成28年10月から松原地区を追加

生活福祉バス・ふれあいタクシー利用者数の推移（単位：人）

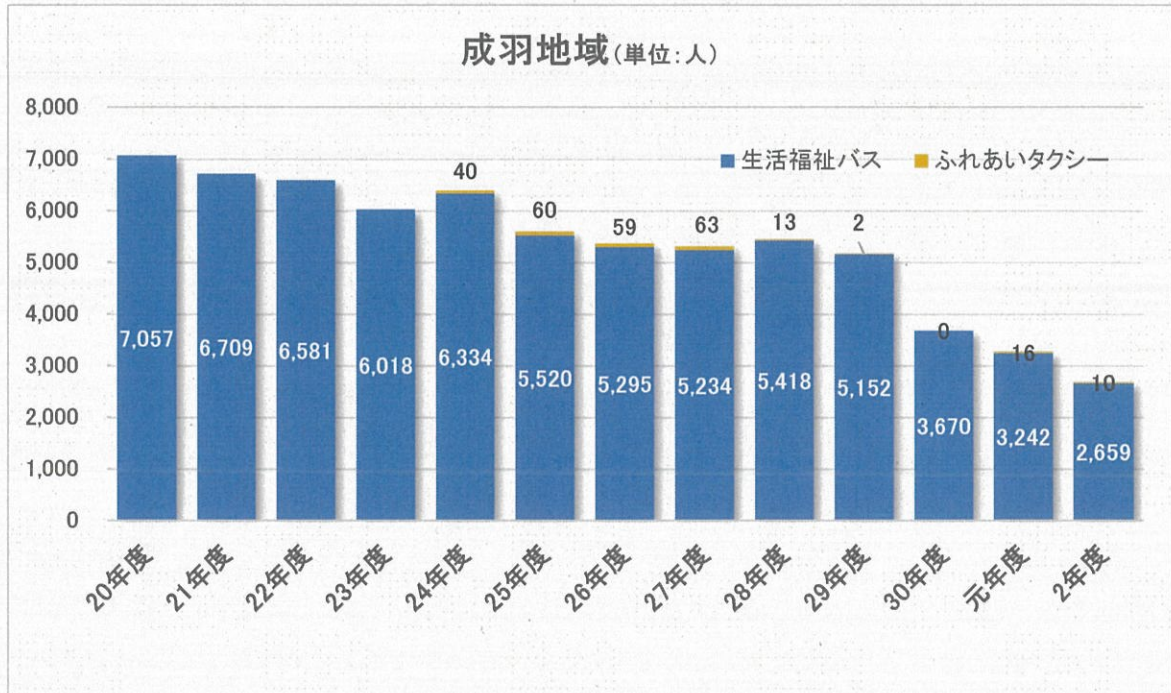


2. 地域別

<成羽地域>

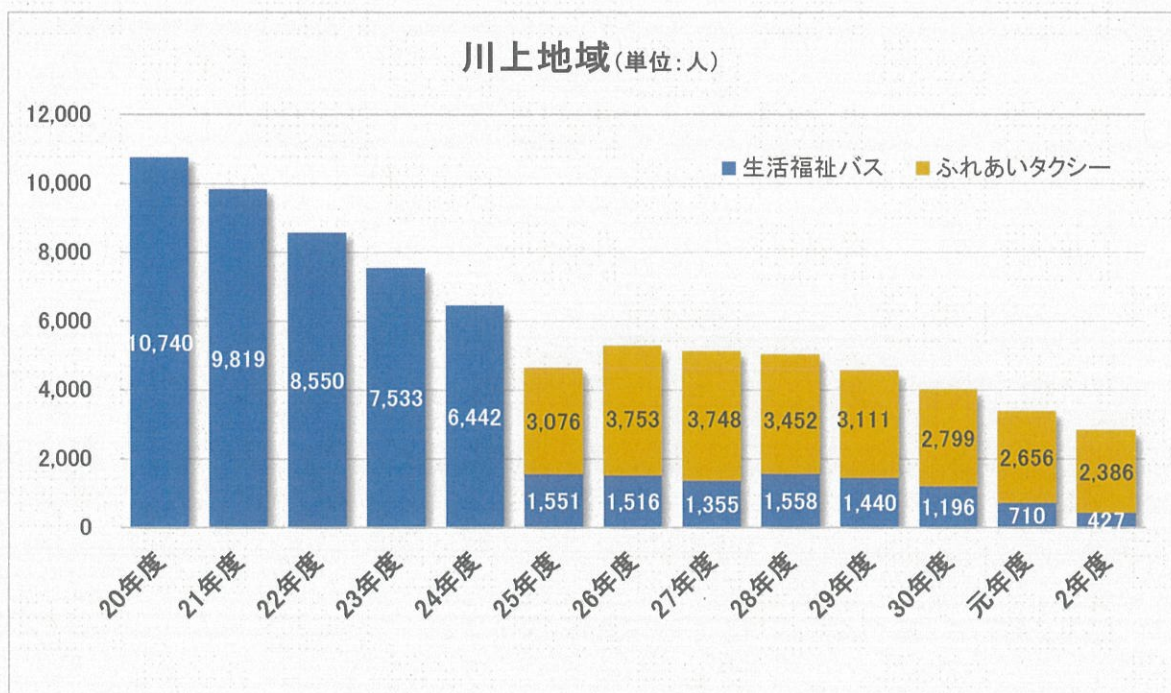
生活福祉バス・ふれあいタクシーの令和2年度延べ利用者数は2,669人で前年度から589人（前年度比約18.1%減）減少した。

※生活福祉バス福松線・畑上ふれあいタクシー 令和3年1月～ 休止



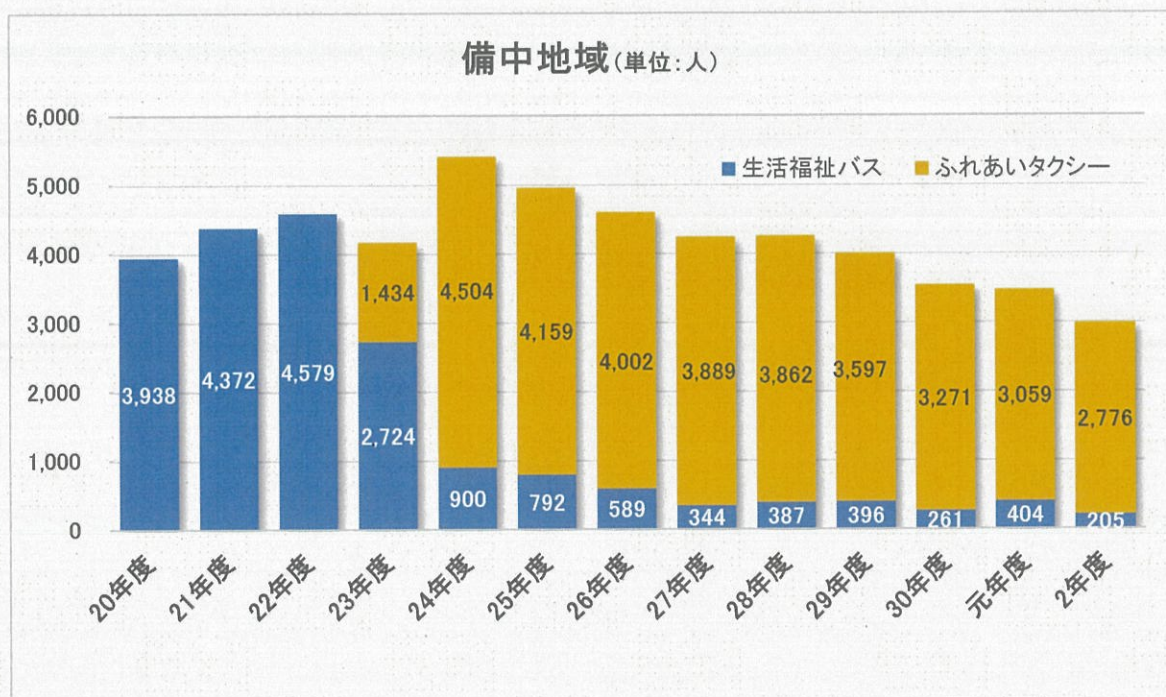
<川上地域>

生活福祉バス・ふれあいタクシーの令和2年度延べ利用者数は2,813人で前年度から553人（前年度比約16.4%減）減少した。



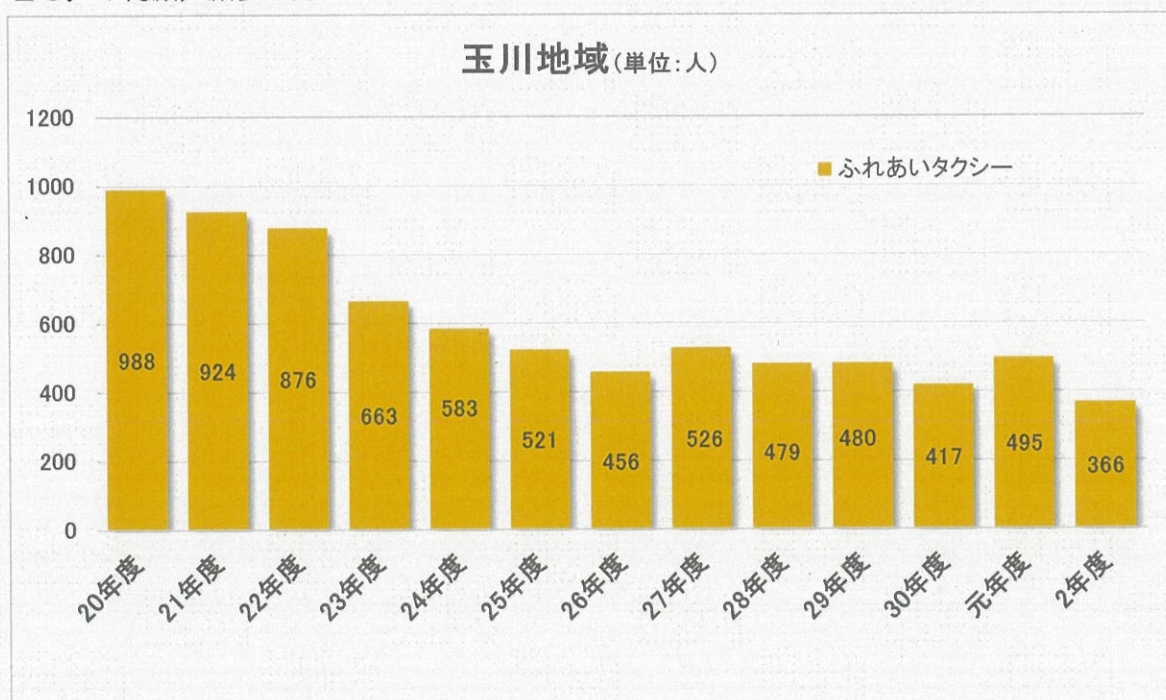
<備中地域>

生活福祉バス・ふれあいタクシーの令和2年度延べ利用者数は2,981人で、前年度から482人（前年度比約13.9%減）減少した。



<玉川地域>

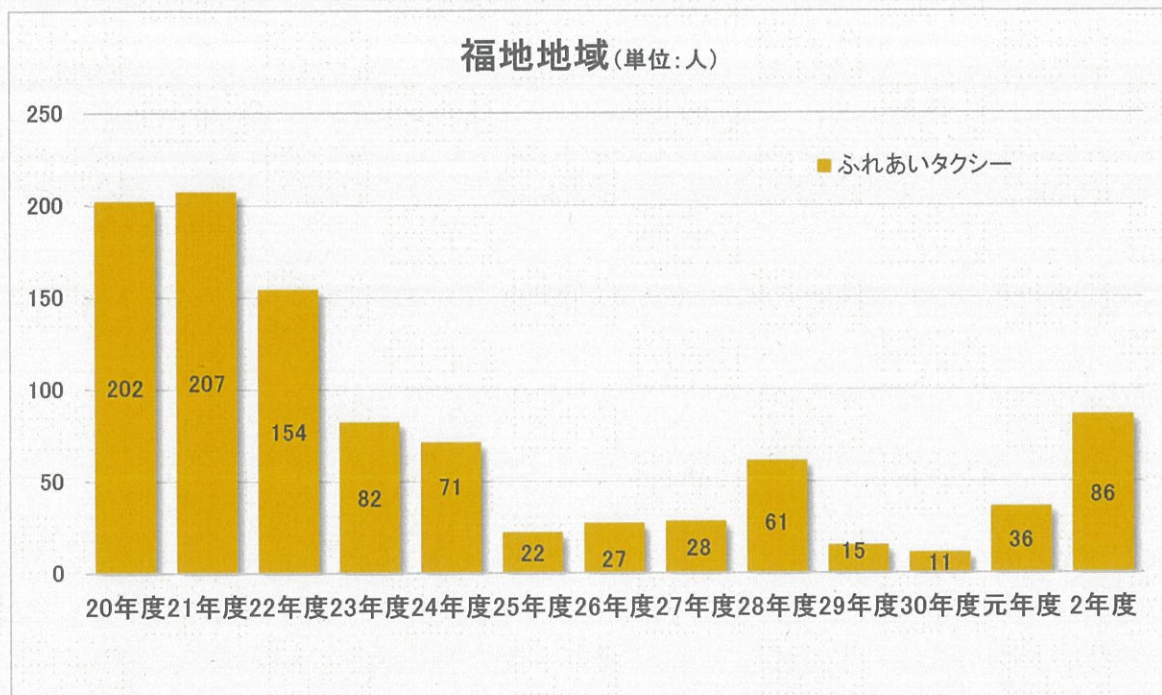
● ふれあいタクシーの令和2年度延べ利用者数は366人で、前年度から129人（前年度比約26.1%減）減少した



<福地地域>

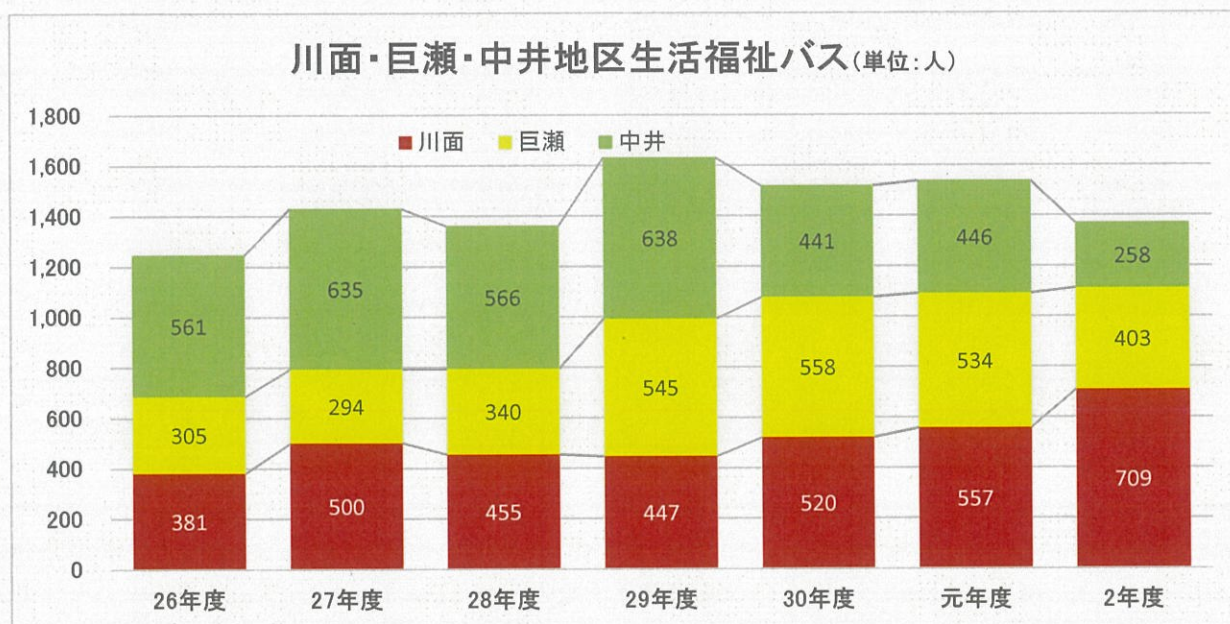
- 定路線運行から区域運行へ変更したことにより、ふれあいタクシーの平成28年度延べ利用者数は61人に増加したが平成29年度から減少傾向にあった。令和2年度延べ利用者数は86人で、前年度から増加した。

※令和3年3月で廃止（地域団体の運行終了）。



<川面・巨瀬・中井地区>

- 生活福祉バスの令和2年度延べ利用者数は1,370人で、前年度から89人（前年度比約10.9%減）減少した。

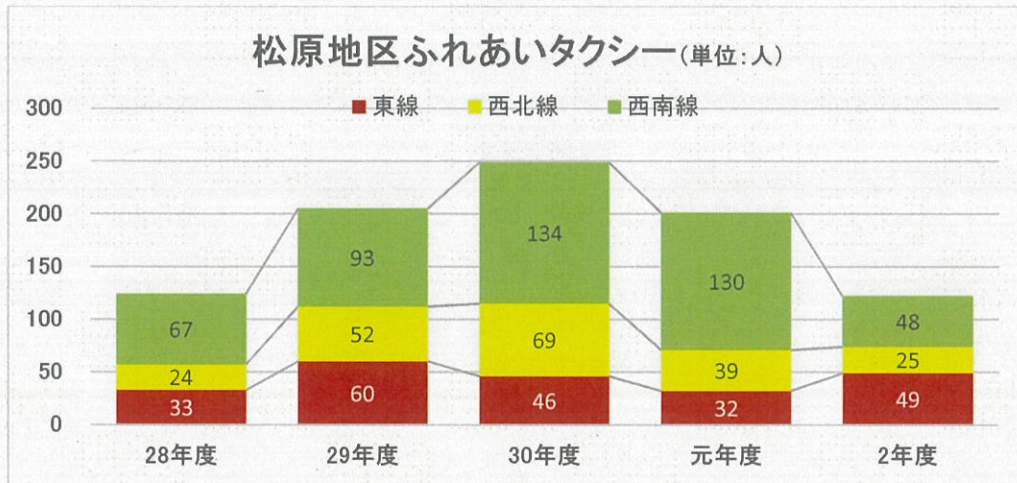


※平成26年度は10月からの半年間の運行（26.10～11は無料運行）

※平成30年4月1日から中井地域の往路運行時刻変更(4路線：1時間～1時間10分繰上げ)

3. 松原地区ふれあいタクシー

- ふれあいタクシーの令和2年4月から令和3年3月までの延べ利用者数は122人で、前年度から79人（前年度比約39.9%減）減少した。



4. 令和2年度事業費

＜4条路線バス＞

（単位：千円）

地方バス路線維持補助金	143,621
-------------	---------

＜生活福祉バス＞

（単位：千円）

	委託料 (運行)	委託料 (運転)	市所有 バスの 維持経費	左記合計 ①	運賃収入 ②	合計 ①-②	利用者一人 あたり経費
高梁	11,383			11,383	859	10,524	7.7
成羽	6,407	3,766	2,568	12,741	858	11,883	4.5
川上	17,354			17,354	149	17,205	40.3
備中		7,812	2,135	9,947	59	9,888	48.2
合計	35,144	11,578	4,703	51,425	1,925	49,500	10.6

※委託料(運行)…運行事業者のバスを利用し、路線管理まですべてを委託

※委託料(運転)…市所有のバスを委託業者が運転、修繕・燃料代は市の予算にて対応

＜ふれあいタクシー＞

（単位：千円）

	委託料	補助金	利用者一人 あたり経費	備考
成羽（畑上）	18		1.8	
川上	7,761		3.3	
備中	13,062		4.7	
玉川	817		2.2	
松原	362		3.0	
福地		226	2.6	福地をよくする会への補助金交付
合計	22,020	226	3.9	

4 条路線バス 経常収支率一覽

経常収支率30%未満…

区分	起点	経由地	終点	実車km	経常収支率			
					H29	H30	H31(R1)	R2
生活交通路線 4系統 (国庫補助)	高梁駅	塩坪	皆部	23.9 km	55.81%	56.20%	55.31%	46.78%
	高梁駅	リハビリ	吉川	32.7 km	53.36%	52.04%	51.27%	44.30%
	地頭	古町	岡山	61.0 km	49.17%	48.02%	47.75%	40.62%
	地頭	古町	高梁駅	17.9 km	48.07%	46.43%	45.49%	33.67%
地域振興特定 路線 9系統 (県補助)	金倉	有漢IC	高梁駅	23.2 km	30.29%	41.38%	37.42%	37.92%
	神原	新町	高梁駅	21.4 km	54.63%	68.10%	72.56%	57.95%
	東村	大和	高梁駅	16.4 km	35.76%	20.51%	20.70%	27.44%
	吹屋	川面	高梁駅	27.8 km	20.61%	22.48%	17.77%	10.91%
	平川	古町	高梁駅	41.1 km	21.17%	14.55%	18.26%	14.33%
	坂本	田原	川合	20.2 km	35.75%	3.65%	1.03%	3.14%
	大和	坂本	高梁駅	13.0 km	17.03%	17.04%	17.95%	11.17%
	高梁駅	川関口	有漢IC	19.4 km	27.62%	25.51%	34.01%	25.24%
	坂本	成羽	高梁駅	33.3 km	27.39%	27.83%	25.43%	24.38%
市単独路線 15系統 (市単独補助)	山際	花木	川面駅	23.4 km	1.83%	13.01%	7.09%	7.18%
	穴田	川面	高梁駅	26.3 km	63.87%	66.29%	48.74%	36.84%
	穴田	笹尾	高梁駅	29.4 km	28.92%	20.69%	26.53%	28.78%
	宇治	ヒキ谷	穴田	4.6 km	17.28%	32.32%	35.42%	47.50%
	成羽	県民局	高梁駅	10.4 km	25.15%	35.01%	36.87%	29.22%
	田原	川戸	平川	15.5 km	41.82%	0.71%	0.32%	3.00%
	高梁駅	祇園	川面駅	26.9 km	0.65%	0.71%	0.32%	0.79%
	陣山	三本松	高梁駅	17.8 km	24.54%	23.06%	19.49%	21.94%
	陣山	井谷	高梁駅	26.8 km	14.77%	17.69%	25.47%	9.32%
	丸岩	八石	川面駅	6.4 km	33.78%	52.46%	60.52%	33.33%
	高梁駅	吉備国大	高梁駅	4.8 km	68.06%	63.76%	67.20%	42.84%
	山際	川面	高梁駅	33.2 km	44.74%	28.32%	18.09%	21.67%
	丸岩	祇園	高梁駅	20.5 km	47.05%	44.68%	46.98%	50.28%
	丸岩	祇園	宮瀬口	8.8 km	18.16%	34.89%	39.27%	19.45%
	川合	成羽	高梁駅	13.1 km	31.85%	30.25%	30.40%	27.18%
平均					33.54%	32.41%	32.42%	27.04%

生活福祉バス 便当り乗車人数一覧

1便当り乗車人数3人未満...



地域	路線名	運行日・年間日数	1便当り乗車人数			
			H29	H30	H31(R1)	R2
川面	川面線(火曜日)	火(祝有) 51	1.88	2.30	2.92	2.99
	川面線(金曜日)	金(祝有) 51	2.45	2.74	2.49	3.96
巨瀬	巨瀬北部線	月(祝有) 52	0.86	1.01	1.13	0.42
	巨瀬中部線	火(祝有) 51	3.02	3.07	2.85	2.47
	巨瀬南部線	水(祝有) 52	1.46	1.39	1.25	1.03
中井	中井180号経由線	水(祝有) 52	2.25	1.72	1.73	0.94
	上野線	金(祝有) 51	2.02	1.08	0.87	0.30
	中井313号経由線	月(祝有) 52	1.50	0.88	1.10	0.73
	山際線	木(祝有) 51	0.44	0.63	0.67	0.52
成羽	中野小泉線	月金(第1・3・5水・祝運休) 123	2.94	1.95	1.45	1.08
	中線	火木(第2・4水・祝運休) 120	3.76	2.52	2.42	1.92
	宇治線	月火水木金(祝運休) 238	2.27	1.50	1.36	1.26
	吹屋線	月水(祝運休) 97	1.83	1.63	1.77	1.52
	福松線	火金(祝運休) ※R3.1末で休止 81	1.70	1.55	1.09	0.94
川上	七地線	月火水木金(登校日) 208	0.59	0.56	0.18	0.08
		土日祝(休校日) 151				
	正寺線	月火水木金(登校日) 208	0.19	0.21	0.16	0.09
		土日祝(休校日) 151				
	高山市線	月火水木金(登校日) 208	0.41	0.21	0.25	0.18
		土日祝(休校日) 151				
	光松線	月火水木金(登校日) 208	0.03	0.02	0.03	0.01
		土日祝(休校日) 151				
備中	黒島～布賀線	月火水木金土(日祝運休) 293	0.12	0.03	0.07	0.04
		登校日増便 208				
	西山～田原線	月火水木金土(日祝運休) 293	0.45	0.31	0.57	0.27
平均			1.51	1.27	1.22	1.04

乗合タクシー 便当り乗車人数一覧

1便当り乗車人数1.5人未満...



区 分	区域・運行日	始点～行先 (利用料/片道)	1便当り乗車人数			
			H29	H30	H31(R1)	R 2
玉川ふれあい タクシー	玉川 (月・水・金)	玉川地域～ ・備中高梁駅(700) ・イズミ(500) ・備中広瀬(500)	1.59	1.39	1.40	1.26
川上ふれあい タクシー	北部線(火・金)	川上地域～ ・川上町地頭地内の 主要施設(400)	2.38	2.29	2.13	1.89
	南部線(月・水)					
備中ふれあい タクシー	平川・長谷地区 (月・水)	備中地域 ・地域内の診療所(300) ・川上プラザ(400) ・成羽病院(700) ・東城(500) ※東城は土曜日・西山地区のみ	1.70	1.58	1.47	1.31
	湯野・田原地区(火・ 木・金)					
	布賀・布瀬・黒鳥地 区(火・木・土)					
	西山地区(金・土)					
成羽ふれあい タクシー (岡山地区)	畑上地区(火・金) ※R3.1末で休止	畑上・波石地区～ ・成羽病院(400)	1.00	0.00	1.00	1.00
沼地地区 タクシー	沼地地区(火・金) ※R3.3末で休止	沼地地区～ ・成羽病院(500) ・イズミ(500)	1.36	1.00	1.13	1.19
松原ふれあい タクシー	松原東線(火)	松原地域～ 落合町原田地区～ ・松原市民センター(400) ・落合市民センター(700) ・イズミ(700) ・仲田医院(700) ・ポルカ(700) ・高梁中央病院(700) ・備中高梁駅(700) ・高梁市役所(700) ・大杉病院(700)	1.46	1.78	1.53	1.14
	神原西北線(水)					
	松原西南線(金)					
平均			1.58	1.34	1.44	1.30

高梁市タクシー利用助成制度（実証事業）利用状況 及び利用者アンケートについて

1、制度の現状

- ・実証期間 令和2年12月1日から当面の間
- ・対象者 高梁市に住民票を持ち現に居住する65歳以上の方で、運転免許（原動機付自転車免許を含む）を保有していない方
- ・対象地域 高倉町飯部・田井／落合町福地／成羽町下日名・上日名
- ・助成内容 申請者に利用者証（顔写真入り）を発行、1人当たり年間36,000円分のタクシー利用助成券を支給（500円×72枚）
※1か月あたり3,000円（500円×6枚）を基準とする。

2、現在の利用状況（令和3年度分：令和3年8月末現在）

地 区 / 65歳以上人口	登録者数 / 交付枚数		利用者数 / 枚数 / 券使用割合			
高倉町飯部地区	110人	5人	318枚 (159,000円)	1人	56枚 (28,000円)	17.6%
// 田井地区	199人	28人	1,908枚 (954,000円)	24人	732枚 (366,000円)	38.4%
落合町福地地区	159人	22人	1,548枚 (774,000円)	17人	559枚 (279,500円)	36.1%
成羽町下日名地区	119人	19人	1,224枚 (612,000円)	16人	499枚 (249,500円)	40.8%
// 上日名地区	61人	11人	684枚 (342,000円)	8人	212枚 (106,000円)	31.0%
計	648人	85人	5,682枚 (2,841,000円)	66人	2,058枚 (1,029,000円)	36.2%

※対象地区65歳以上人口のうち登録者の割合 13.2%

※65歳以上人口に運転免許非保有率44%を乗じ対象者約285人とした場合に、
推測される制度対象者のうち登録者の割合 29.8%

3、令和2年度利用者アンケート結果

別紙のとおり

タクシー利用助成事業アンケート結果

回答率94% (63人/67人_令和2年度登録者)

問1. タクシー利用助成券を利用しましたか。

n= 63

問1-1	はい	57	90.5%
問1-2	いいえ	6	9.5%

問2. タクシー利用助成券を利用しなかった理由を教えてください。(複数回答) n=6

問2-1	バスを利用する	0	0.0%
問2-2	電車を利用する	0	0.0%
問2-3	徒歩・自転車で移動する	0	0.0%
問2-4	福祉輸送サービス等を利用する	1	16.7%
問2-5	家族・友人・知人等の運転で外出する	5	83.3%
問2-6	外出をしない	0	0.0%
問2-7	タクシー料金が低い	0	0.0%
問2-8	タクシーの予約ができなかった	0	0.0%
問2-9	その他	1	16.7%

↑申請時期が遅かった(3/24)

問3. どのくらいの頻度でタクシーを利用しますか。

n= 60

問3-1	ほぼ毎日	0	0.0%
問3-2	週3～4回	2	3.3%
問3-3	週2～3回	3	5.0%
問3-4	週1～2回	14	23.3%
問3-5	月1～2回	35	58.3%
問3-6	その他	6	10.0%

↑3か月に1回、月5回、月に1回

透析以外の検査時、急用時、治療時は増

問4. タクシー利用の目的を教えてください。(複数回答) n=57

(複数回答) n=57

問4-1	買い物	38	66.7%
問4-2	通院	56	98.2%
問4-3	郵便局・金融機関	17	29.8%
問4-4	公共機関	7	12.3%
問4-5	その他	6	10.5%

↑美容室5、親戚宅1

問5. タクシー利用助成券を利用してどこによく行きますか。

主な回答	成羽病院、大杉病院、高梁中央病院、 イズミ、ポルカ、パーク、美容室、 市民センター、郵便局
------	---

問6. 1回のタクシー利用金額はどのくらいですか。

n= 58

問6-金額	回答者平均	2,707円
-------	-------	--------

問7. タクシー利用助成券交付事業の満足度を教えてください。

n= 59

問7-1	満足している	33	55.9%
問7-2	やや満足	7	11.9%
問7-3	普通	12	20.3%
問7-4	やや不満	4	6.8%
問7-5	不満である	3	5.1%

自由意見

高齢者の2人暮らしですが今のところ夫の運転で通院・買物などに出ています。私は3年前より難病指定 要支援と なっています。通院は高梁市内の病院ではなく倉敷の病院へ4週～6週間おきに予約通院しています。なので通院には使用できないのが残念です。(タクシー券は本市内だけでの使用可なので)
満足している。引き続き事業をして欲しい
一人暮らしなのでうれしいです。感謝しています。
同居親族が仕事をしている為、病院受診で片道はどうしてもタクシーのお世話になっています。タクシー券は本当に助かっています。今後もよろしくお願いします。近くのバス停まで1kmあり足の悪い本人は歩くことはできません。
バス路線迄タクシーで、後はバスを利用。乗り降りは足が不自由なので皆様に御迷惑をおかけしながらでも、親切な人ばかりで感謝してます。今迄の乗り合いタクシーには、一度も乗れず、耳鼻科は水曜日しか先生居られず毎週 困ったこともありました。利用助成券はほんとうに助かります。ありがとうございます。
大変感謝しております。これからもよろしくお願いします。
金額が足りません。
100円券があれば好都合である。
図書館イベントなどで行って見たいけど行くことが出来ません。
助成券を頂き大変満足しています
透析のある日ない日でも他の検査等が必要で移送車で送迎ができず、こちら側で用事がありどうしても付き添えなかつたり送迎ができない際はタクシーを利用せざるおえませんので、こうした際にはタクシーを利用させて頂きます。大変助かります。ありがとうございます。
受診の回数が増えるとタクシーの利用は経済的に負担になります。福祉バスのように安く利用できる方法があると助かります。
病院と郵便局に行きます。年をとれば急ぎ熱が出たり気分も悪くなり病院に行く回通が多く大変助かります。ありがとうございます。よろしくお願いいたします。感謝しています。
3月は主人が入院していたので通院に助かりました
バスより自由に時間を気にせず利用でき、支払金額も少額で助かっています。
今回は申請が遅かったので利用機会がなかった
外出時は自転車、バスを利用し出来る限り利用を控えている様にしているが、雨等など外出が難しい場合は使用しています。大変助かっています。
今の所買物には私が(妻)するのですが、私も時々調子が悪ければ(出来ないので)付いていかないと一人では何も出来ない人ですので、券があると助かります。体調が悪くなれば使用回数が多くなると思います。有りがたく思います。
月3,000円のタクシー利用券では、月1回で消費されてしまう。食品を購入しに行くことなどを考えると、バスがあってくれる方が有難い。(金銭的にも)週2回でなくても、週に1回か、小型のバスを運行してもらえることを検討してほしい
助かりました
タクシー利用助成券が出る事は大変確かります
2人乗り合いしています。
病気悪化の為、免許の返却をしました。今まで運転をしていたので、とても不自由です。タクシー券をいただけるので助かります。病院受診も複数科ある為、1日ではまとまらず困っていました。

令和3年度の路線見直し状況及び見直し検討路線について

1. 令和3年度中の路線見直しの状況について

令和2年度第2回高梁市地域公共交通会議（R3.2.12開催）における承認を受け、運行事業者と協議のうえ、次のとおり見直しを実施した。

(1) 4条路線バス

系 統	運行形態(発時刻)	見直し状況
坂本～田原～川合	行 16:26◆、17:51○ 帰 7:13全	R3. 9月末で廃止
田原～川戸～平川	帰 17:00▲◆ 17:36▲(10～3月)	同上
高梁駅～祇園～川面駅	行 11:50★	同上

※凡例 全…全日運行 ▲…土日祝運休 ★…土日祝・学校長期休業期間のみ運行
○…4月1日から9月末日まで運行 ◆…10月1日から3月末日まで運行

(2) 生活福祉バス

路 線	運行形態(発時刻)	見直し状況
黒鳥～布賀 (東別れ・黒鳥線及び 黒鳥・布賀線)	日4便・日祝運休 年間 1,076 便	R3. 9月末で廃止 ※ただし、東別れ・黒鳥線の次の2 便は、学校登校日のみ令和4年3 月末まで運行する。 ● 7:45 東別れ発 ● 16:50 小学校発
西山～田原線 (西山・田原線)	日2便・日祝運休 年間 584 便	R3. 9月末で廃止

2. 令和3年度に見直しを検討する系統・路線

(1) 4条路線バス 4系統

○平川～古町～高梁駅

運行形態	区分	乗車密度	経常費用	経常収益	収支率	見直し方針
行 2 帰 1, ▲1	R 2	0.9	15,608,350 円	2,237,033 円	14.33%	減便又は 廃止を検討
	R 元	1.1	14,708,173 円	2,685,716 円	18.26%	
	H30	0.9	14,648,344 円	2,131,598 円	14.55%	

○大和～坂本～高梁駅

運行形態	区分	乗車密度	経常費用	経常収益	収支率	見直し方針
行 ▲3 帰 1, ▲2	R 2	0.5	5,796,329 円	647,699 円	11.17%	東村系統を含 めて減便等を 検討
	R 元	0.8	5,453,241 円	978,737 円	17.95%	
	H30	0.7	5,538,521 円	943,688 円	17.04%	

○吹屋～川面～高梁駅

運行形態	区分	乗車密度	経常費用	経常収益	収支率	見直し方針
行 2, ▲2, ◎1 帰 3	R 2	0.6	19,196,648 円	2,093,636 円	10.91%	観光施策 との調整
	R 元	1.1	18,156,036 円	3,226,110 円	17.77%	
	H30	1.3	18,099,026 円	4,069,292 円	22.48%	

○山際～花木～川面駅

運行形態	区分	乗車密度	経常費用	経常収益	収支率	見直し方針
帰 ●1	R 2	0.3	1,379,126 円	99,036 円	7.18%	スクールバス 対応の代替を 検討
	R 元	0.3	1,348,901 円	95,599 円	7.09%	
	H30	0.6	1,315,642 円	171,122 円	13.01%	

※凡例 ●…学校登校日のみ ▲…土日祝運休 ◎…土日祝・振替休日運行

(2) 生活福祉バス 11 路線

○巨瀬地域

運行形態	区分	年間利用 人数	1人あたり 経費	1便あたり 人数	見直し方針
巨瀬北部線 (月曜日のみ) 年間 104 便	R 2	44 人	24206 円	0.42 人	ダイヤ変更によ る実証運行も含 め地元協議中
	R 元	115 人	8,605 円	1.13 人	
	H30	103 人	8,607 円	1.01 人	
巨瀬中部線 (火曜日のみ) 年間 102 便	R 2	252 人	4,655 円	2.47 人	
	R 元	291 人	3,820 円	2.85 人	
	H30	313 人	3,181 円	3.07 人	
巨瀬南部線 (水曜日のみ) 年間 104 便	R 2	107 人	9,044 円	1.03 人	
	R 元	128 人	6,890 円	1.25 人	
	H30	142 人	5,673 円	1.39 人	

○中井地域

運行形態	区分	年間利用 人数	1人あたり 経費	1便あたり 人数	見直し方針
中井313号經由線 (月曜日のみ) 年間102便	R2	76人	16,329円	0.73人	隔週運行による 減便を検討
	R元	112人	10,295円	1.10人	
	H30	90人	11,478円	0.88人	
中井180号經由線 (水曜日のみ) 年間102便	R2	98人	14,994円	0.94人	
	R元	176人	7,609円	1.73人	
	H30	175人	6,989円	1.72人	
上野線 (金曜日のみ) 年間104便	R2	31人	43,290円	0.30人	
	R元	90人	13,856円	0.87人	
	H30	112人	10,369円	1.08人	
山際線 (木曜日のみ) 年間102便	R2	53人	24,524円	0.52人	
	R元	68人	17,762円	0.67人	
	H30	64人	17,236円	0.63人	

○川上地域(※児童・生徒は除く。)

運行形態	区分	年間利用 人数	1人あたり 経費	1便あたり 人数	見直し方針
七地線 (平日・土日祝春夏冬休) 年間1,342便	R2	111人	[R2] 40,642円 [R元] 23,013円 [H30] 12,437円	0.08人	教育委員会とス クールバス代替 の検討を行う。 土日祝・学校春 夏冬休み運行便 の減便又は廃止 を検討。
	R元	227人		0.18人	
	H30	724人		0.56人	
正寺線 (平日・土日祝春夏冬休) 年間1,134便	R2	97人		0.09人	
	R元	176人		0.16人	
	H30	224人		0.21人	
高山市線 (平日・土日祝春夏冬休) 年間1,134便	R2	203人		0.18人	
	R元	274人		0.25人	
	H30	227人		0.21人	
光松線 (平日・土日祝春夏冬休) 年間1,134便	R2	16人		0.01人	
	R元	33人		0.03人	
	H30	21人		0.02人	

(参考：R3児童・生徒の延べ利用人数試算)

区 分	登校日当 たり便数	年間登 校日	小学校 児童	中学校 生徒	延べ利用人数	登校日の1便 当たり人数※
七地線	5便	198日	3人	5人	3,168人	3.2人
正寺線	4便		7人	5人	4,752人	6.0人
高山市線	4便		9人	4人	5,148人	6.5人
光松線	4便		8人	8人	6,336人	8.0人
計	17便	-	27人	22人	19,404人	5.8人

※1便当たり人数…延べ利用人数(生徒数×登校日×往復)÷(日当たり便数×登校日)

グリーンスローモビリティ実証調査事業の実施について

1、経 緯

国土交通省が、環境負荷が少なく、狭い路地も通行可能で、高齢者の移動手段や観光周遊などに活用できるグリーンスローモビリティ（通称：グリスロ）について、地方自治体を対象に一定期間無償貸与し実証調査を行う「グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業（募集 R3.6.25～7.26）」に応募したところ、9月10日付けで採択を受けた（全国で7自治体が採択）。

※車両レンタル費・貸出地までの輸送費・ドライバー講習費・ナンバー変更費・任意保険料は、国負担。実証に係るドライバー・充電費・調査費などは市負担。

2、採択事業の概要

(1) 事業名 あいのりが楽しい！コミュニティツーリング

～コミュニケーションツールとしての公共交通を考える。～

(2) 目 的

- ・城下町高梁エリアで、小回りが利く移動手段として生活需要及び観光需要の実用性を検証する（また、住民と観光客のあいのりによるふれあい）。
- ・多くの市民に試乗体験してもらうことで、交通弱者の移動手段とあわせ、住民同士のコミュニケーションツールとして、乗ることが楽しい公共交通をテーマに実証を行う。
- ・また、市内の各地域コミュニティを舞台としたコミュニティツーリングの有用性と今後の地域への導入も視野に実証を行う。

(3) 実証期間 令和3年11月2日（火）～15日（月） 2週間

(4) 使用車両 電動7人乗りカート型グリスロ車両 2台

(5) 実証モデル地区

- ・高梁市街地をモデル地区として、主に次の場所を巡回するルートを設定し実施する。
○備中高梁駅 ○栄町商店街 ○本町筋 ○石火矢町ふるさと村 ○高梁市役所
○高梁郵便局 ○天満屋ポルカ など
- ・1周あたり、5km以内程度で設定する（時速12km程度で、約30分で周遊）。

(6) 運行方法

- ・10:00～12:00、13:00～15:00の時間帯を中心に一定のルートを連続的に巡回運行する。
- ・備中高梁駅など一定の停留所を設けるが、手挙げ式で乗車ができ、降車の時は乗務員に声掛けすることで、ルート上のどこでも乗車・降車が可能となるよう検討したい。
（乗降の安全面からフリー乗車区間などの設定も必要）
- ・運行業務は、バスタクシー事業者へ依頼する。

(7) 料 金

- ・試乗体験として無料とする。
- ・乗務員により乗車状況（乗降地や年代等）を記録するとともに、乗客にアンケート（後日投函により回収）を実施する。

グリーンスローモビリティとは

グリーンスローモビリティ：電動で、時速20km未満で公道を走る4人乗り以上のパブリックモビリティ

【グリスロの5つの特長】

- ①Green…CO2排出量が少ない電気自動車
 ②Slow…ゆっくりなので、観光にぴったり
 ③Safety…速度制限で安全。高齢者も運転可

- ④Small…小型なので狭い道でも問題なし
 ⑤Open…窓がない開放感が乗って楽しい

※乗合バス事業、タクシー事業、自家用有償旅客運送で運行可

軽自動車	小型自動車	普通自動車
 4人乗り	 7人乗り	 10人乗り
 4人乗り	特殊用途車両（8ナンバー）	 車椅子リフター可 10人乗り
	 福祉車両タイプ	 車椅子リフター可 16人乗り

※16人乗り車両の運転にあたっては、中型自動車免許が必要になります。

グリーンスローモビリティの導入に向けた支援事業の内容

高齢者の移動手段の確保、観光客の利便性の高い周遊手段の確保等を図るため、実証調査と車両購入費補助により、環境にやさしいグリーンスローモビリティの普及を推進。

支援事業の内容

1. グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業（国交省）

- ・グリーンスローモビリティの活用に向けた実証調査の実施を希望する地方公共団体からの企画を募集
- ・地域に対して、2～4週間、車両を無償貸与すると共に、国交省が委託する外部専門機関による助言支援を実施



2. IoT技術等の先進技術を活用したグリーンスローモビリティの導入実証事業（環境省／国交省と連携）

- ・実施期間：2019年度～2023年度
- ・2020年度は、今年度採択の7地域の実証を継続（新規採択の予定なし）



3. 脱炭素型地域交通モデル構築事業（車両購入費補助）（環境省／国交省と連携）

- ・脱炭素型地域交通モデル構築に必要な車両や設備等の導入に係る費用の一部を支援

グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業 国土交通省 (国交省単独)

○平成30年度 13地域から応募があり、5地域を選定。

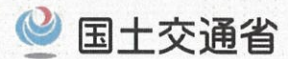
福島県いわき市	被災復興地域の経済循環促進に向けた地域交通イノベーション実証事業 【被災地中心市街地での観光客向け定期周遊モビリティ】
三重県東員町	高齢化が進む住宅団地で共助によるモビリティサービスの実現 【名古屋圏ニュータウンでの住民向けデマンド型ラストワンマイルモビリティ】
岡山県備前市	鶴海お出かけちよい乗りカート運行事業 【福祉と連携した中山間高齢者向けデマンド型ラストワンマイルモビリティ】
広島県福山市	しおまち（潮待ち）モビリティ実証事業～国内随一の近世港町「鞆の浦」の暮らしとおもてなしをつむぐ～ 【住民の暮らし、観光客のおもてなし、離島のお出かけモビリティ】
熊本県天草市	低炭素型モビリティを活用した世界遺産と住環境の保全支援事業 【世界遺産集落で住民生活と共存する住民・観光向けモビリティ】

○令和元年度 14地域から応募があり、7地域を選定。

千葉県松戸市	全世代型地域共生モビリティ実証事業with都市型介護予防モデル松戸プロジェクト 【郊外住宅地における介護予防・健康づくりを推進する定路線型モビリティ】
兵庫県明石市	地理的交通不便地域の生活を支える次世代モビリティの導入実験 【標高差のある住宅地と生活拠点・バス停を結ぶ定路線型モビリティ】
兵庫県朝来市	坂道の住宅団地を駆け巡るラストワンマイルモビリティ 【中山間地域の住宅地におけるシルバー人材が活躍する定路線型モビリティ】
岡山県笠岡市	知-な空間・知-な乗り物 ～期待に応えるモビリティ@笠岡諸島～ 【離島の住民の移動と観光周遊手段を兼ねるデマンド型・定路線型モビリティ】
山口県宇部市	“コト”外溢に向けて”どこでも入れる「地域の足」まちなかグリーンS&Lモビリティ実証事業 【中心市街地における高齢者の移動手段としての定路線型モビリティ】
宮崎県宮崎市	中心市街地の回遊性向上による波及効果を目指した新モビリティ実証調査事業 【駅とまちなかをつなぎ、市街地を活性化させる定路線型モビリティ】
宮崎県延岡市	自律性の高い集落形成を後押しする新モビリティ実証事業 【公共交通の空白地である三角州地帯の生活を支えるデマンド型モビリティ】

3

令和元年度 グリーンスローモビリティ関連事業 (環境省・国交省連携)



①IoT実証事業

・下記7地域を選定。

福島県いわき市	“フラシティブークル”を活用した『スマート交通』推進プロジェクト
福島交通株式会社 (実施場所：福島県飯舘村)	中山間地におけるラストワンマイルモビリティ
大阪府河内長野市	開発団地におけるグリーンスローモビリティを活用したQOL（生活の質）向上モデル事業
島根県大田市	世界遺産石見銀山大森地区におけるGSMを中心とした地域内交通整備事業
広島県尾道市	グリーンスローモビリティを核とした環境配慮型モビリティ連携による次世代観光まちづくり
香川県琴平町	IoTで利用者に優しく安全「ことごと感幸バス」実証プロジェクト
大分県由布市	「IoT等の先端技術を活用したグリーンスローモビリティ」実証事業

②購入費補助事業

・10事業者から応募があり、下記8事業者を選定。

事業実施団体名	事業実施場所	事業実施団体名	事業実施場所
岡山県備前市	岡山県備前市	アサヒタクシー株式会社	広島県福山市
社会福祉法人みずらみ	島根県松江市	京都府相楽郡和束町	京都府相楽郡和束町
伊豆箱根バス株式会社	静岡県沼津市	東京都豊島区	東京都豊島区
広島県福山市	広島県福山市	京浜急行電鉄株式会社	神奈川県横浜市



(福山市/H30実証調査 → H31.4.タクシー事業 運行開始)



(町田市/R元.12. 自家用有償旅客運送 運行開始)



- ◎: 現在運行している地域
- : 車両購入費補助事業 採択地域
- ★: 国土省及び環境省実証事業 採択地域



(松戸市/R元 実証調査)

グリーンスローモビリティ事業化に向けたポイント

- ①地域の課題解決に適した運行手法、車両、ルート、運賃、体制（運転手の確保）等の検討・調整
- ②地方公共団体（交通、まちづくり、福祉部局等）、交通事業者、商工会、福祉関係者、観光事業者等、様々な関係者が本モビリティの意味を理解し、それぞれ自らの役割を認識し、地域で一緒に取り組む体制づくり
- ③お披露目会、出発式、チラシの配布等の情報発信を積極的に行い、出来るだけ多くの方に知ってもらい、自分たちのモビリティとして愛着を持ち乗ってもらう気運の醸成

広島県福山市（タクシー事業）

運行主体: アサヒタクシー(株)
 運行地域: 鞆地区
 利用料金: 初乗り630円(通常タクシーと同等)
 車両: ゴルフカート
 事業開始: 2019年4月



大分県姫島村（レンタカー事業）

事業主体: 姫島エコツーリズム推進協議会
 利用地域: 姫島
 利用料金: 1時間 2,500円
 (4人乗り)
 車両: ゴルフカート
 事業開始: 2018年7月



東京都豊島区（バス事業）

運行主体: WILLER EXPRESS(株)
 ※豊島区より委託
 運行地域: 池袋駅周辺
 運賃: 一回券(大人) 200円
 車両: eCOM-10
 運行体系: 路線定期運行
 運行開始: 2019年11月27日



東京都町田市（自家用有償旅客運送）

運行主体: 社会福祉法人悠々会
 運行地域: 鶴川2・5・6丁目団地と鶴川団地センター名店街との間
 利用対象: 団地に居住する高齢者(登録制)
 登録料: 年間 500円
 車両: ゴルフカート
 運行開始: 2019年12月3日

